



エコ・あさき

楽しみを見つけませんか！
お仲間と、一緒に…

ハマミーナまなびプラザ

2015年4月浜見平に誕生したばかりの「ハマミーナ」その2階と3階に「ハマミーナまなびプラザ」があります。生涯学習の充実と地域のコミュニティ作りを目的に、自ら学び共に学びあう活動の場として作られました。ピカピカの施設を見学しました。7月5日(日)には「市民大楽」*の開校式とグランドピアノ寄贈式が行われ、お披露目演奏会も開かれました。

* 今まで個別の事業として実施していた生涯学習事業を大学の学部・学科になぞらえ、「市民大楽(大学)」という形で体系化したものです。



2階

富士山に見える会議室

書類を見ることに疲れたら窓の外に目をやれば、しろやま公園そして富士山がリフレッシュさせてくれます。落ち着いた雰囲気です。じっくりミーティングができます。(定員30名)

コンサートもできる音楽室

ドラムセットとグランドピアノなどが設置されています。防音室になっているので音を気にすることなく練習もできます。楽器演奏のほか演劇や映画鑑賞などにも使えます。(定員60名)

フリースペース

打ち合わせや自習の場としても使えるフリースペースは予約なしで大丈夫です。

清潔な調理室

明るくて清潔、機能的な調理台で調理実習も楽しくできます。昇降式調理台も1台あります。食器なども完備しています。(定員30名)



3階

広い体育室

バスケット1面、バドミントン3面、バレーボール1面のスペースがあり、卓球・太極拳・ヨガ・講演会などにも使えます。空調設備が整っているため快適な時間を過ごせます。

一部利用できない種目

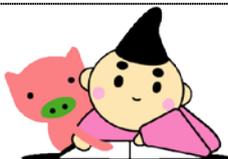
(サッカー、フットサル、社交ダンス等)があるので確認が必要です。講演会を開くのにも充分な広さです。



開館時間：9時～21時
(利用登録受付：9時～16時30分)
休館日：年末年始(12月29日～1月3日)
住所：茅ヶ崎市浜見平11番1号
電話：0467-83-2820
(まなびプラザ事務局)

まなびの市民講師紹介

- P2. こども創育ラボラトリオ杉下裕樹さん
- P3. サロン・ド・コラーージュ沼田和洋さん



あなたの学びのお手伝い

こども創育ラボラトριο フリーランス保育士
杉下裕樹さん

子ども主体の教育・ ボーダーレスな社会を目指して

杉下裕樹さんは約2時間弱の間、保育を中心に今の教育について熱くご自身の思いを語ってくださいました。杉下さんは建築を学んで保育所など子どもに関わる施設を作ってきた過程で、現場を知らなければ子どもに適した施設は作れないと感じたそうです。そして保育士の資格を取り、200園ほどの保育所等を運営する組織の質管理や企画開発の担当者を務めてきました。その後「子ども子育て支援新制度」が制定されたのを機にフリーランスの保育士として活動されています。



「今の保育所は、数に対して質が伴っていないんです。待機児童ゼロに価値をおき、保育所の数を増やしていますが、保育士も足りていませんし、質を向上させる仕組みもありません。固定概念や大人が生み出したボーダーに縛られて、本質である子ども主体の環境もできていない状態です。」

「北イタリアのレッジョエミリア市では、歴史・思想・情熱から生まれ人権・地域・市民の考えを集結させた子ども主体の教育の仕組みが実践されています。現地で子ども主体の教育の仕組みのヒントや気づきを学んできました。レッジョエミリア市で気づいた教育の仕組みのように、この茅ヶ崎で「廃材＝表現素材」を活かした地域社会の仕組み作り（仮称：共育素材センターやアトリエ設立計画）と講演＆ワークショップの活動を通し、子どもの無限の可能性を引き出してあげたいんです」



杉下さんの熱心な話は更に続きました。

「廃材＝表現素材を子ども目線と意識を持つ大人が導き、自由な発想で自発的に表現していきます。すると廃材に命が吹き込まれます。そして、子どもが表現したものを“可視化”させて“子どもを知り、学ぶこと”“その価値と権利を大人達が認め合うこと”が重要なんです。そして私のワークショップでは、子ども自身に表現したものをプレゼンテーションしてもらいます。自分が表現したものを自信持って対話の中で伝えることが大切なんです。教育を子どもと共に知り、学び、その価値を認め合う“共育”にしなければいけないと考えています。」

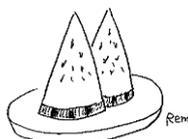
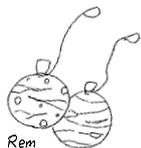
「まなびの市民講師として、講演（理論・考え方）とワークショップ（体験）を一体化させたかたちでこの価値を伝える活動を進めていきます」

時間の経つのを忘れて、杉下さんは保育教育や日本の将来について語ってくださいました。ご自身と考えを同じくする同士を増やし、ご自分の思いを未来へつなげる努力もしてほしいですね。

「これが終わったら子どもを迎えに行かなければなりません」

最後に杉下さんは二児の父親としての優しい一面も覗かせてくれました。

少しずつこの茅ヶ崎に乳幼児教育の本質を根付かせてほしいですね。市民の皆様も機会を捉えて杉下さんの乳幼児教育についての思いや保育士実践に触れてみてはいかがでしょうか。



杉下裕樹さんのご連絡先

住所：茅ヶ崎市菱沼1-11-18

電話：090-4125-3664

メール：designing-the-future@silver.ocn.ne.jp

「まなびの市民講師」の横顔

サロン・ド・コラージュ代表
沼田和洋さん



講師の皆さま方（左から沼田さん、増田さん、吉村さん、下中さん）

みんなの個性がイキイキ伸びる楽しい空間 ～サロン・ド・コラージュ～

「ここは教室でも講座でもなく、集まったみんなで個性を伸ばし合い、作品を作り学んでいくサロンです」と語る沼田さん。

今回はそんな新しい学びのスタイルを目指しているサロン・ド・コラージュ代表の沼田和洋さんにお話を伺いました。

こんなサロンで共に学ぼう楽しもう！



誰もが「わーきれい！」とか「これ大好き！」などと思う事があります。その心の動き、つまり感性が大切だと沼田さんは言います。例え美術の経験がなくてもそんな思いがあれば大丈夫。コラージュという手法を用いながら、自分らしい作品を作っていきます。

また、創作活動もさることながら、ワイワイみんなでやり取りする時間がここでは重要。参加者が持ち寄る話や気になったもの（写真・絵本・パンフレット等）をみんなで見て考えたり感じたりします。そんな時間が実は作品作りの大きな栄養素となり、ハッと気付いたりアイデアがわく源になるそうです。

こうして共に学びながら自分のペースで作品を作っていきます。その時間と空間自体がここでの学びの原点です。教わる部屋ではなく、共に楽しむ場所。そんなサロンを沼田さんは作ろうとしています。

コラージュってどんな事するの？

「コラージュ」とは、新聞や雑誌の切り抜きをはじめ、布や写真など色々組み合わせる貼付ける絵の手法のことです。

最初は好きなものを切り抜き、貼り絵を作ります。単純な構成や色でも驚くほど個性的なものになるそうです。自分のデッサンを加えたり違った素材を組み合わせたりと、きまりがないので自由に表現ができます。誰もがやった事のある切ったり貼ったりする作業が基本なので、初めての方でもどんな年齢の方でも気軽に始めることができます。



たくさんの思いが詰まったコラージュ作品

材料には思いがいっぱい

大好きなものって捨てられませんよね。引き出しの中の柄紙、古い雑誌や写真…。コラージュの創作活動では、貼れるものはなんでも使えます。その一つ一つに思い出や愛着があれば、ますます自分を表現するにはピッタリの材料になってしまいます。

お話を伺いながら、みなさんの作品をみせて頂きました。旅の思い出や大好きなもの、好きな色や音楽…。と作者の心が作品から伝わってきました。

興味のある方は一度訪ねてみて下さい。サロン・ド・コラージュの魅力にきっと出会うことでしょう。

沼田和洋さんのご連絡先

電話：090-8052-5172
メール：wayo135246@yahoo.co.jp



私の第一歩

『絵を描きましょう』

アートリエ 香川千賀さん

退職した後、外に出て何かしたいと探していたところ、広報でアートリエが目にとまりました。でも入会したのは、それから2年位後。絵は好きだけど見るだけで、高校以来描いてないからです。

心配は無用でした。先生は「自由に好きなように楽しく描いてください」又、絵の良い所を見て、やさしく励まして指導して下さいます。

仲間達は会話を楽しみながら、水彩・色鉛筆・パステル等、色々な画材で自由に個性的でとても刺激をうけます。私も描いていますが、思っている様に出来ません。悩みますが、画用紙を前にする度、素敵な絵を夢見て楽しく描いています。



ご連絡先：0467-86-0237
(代表 鈴木嘉一)

会員数：11人

会費：月1,500円

日時：第2・4火曜日、9時から12時

場所：南湖公民館

近ごろ思うこと

まなびの市民講師 岡崎文江さん

情報網の発達と迅速な物流、施設園芸の進歩により世界中の料理や季節を問わずいつでも手に入る食材などが食卓を飾るようになりました。四季のある我が国には旬の食べもの、伝統の郷土食、行事食があり、その時の来る事が待ち遠しく楽しみでもありました。

生活習慣や好みの変化により薄れて行くことは淋しく思います。日本の料理が食の世界遺産になったことは素晴らしいことで先人たちが伝え継いできた素朴でも味わいのある御馳走を次世代へ送っていきたいと思います。



街角

「遠い親戚より近くの他人」

最近テレビやラジオ、新聞などで話題になりますが、全国的に一人暮らしのお年寄りが増えていきます。

私自身も最近一人暮らしの身となり不安でしたが、とても良いことに気づきました。それは、近所の方たちのやさしい思いやりです。私が家の周りで小さな庭の花仕事をしている時、道行く人たちが笑顔であいさつして下さいます。その中には小学生の子供たちもいて、私の心は笑顔になり「ありがとう」の気持ちでお返しのできることをします。

やはり、いざという時には近くにいる人たちが頼りになります。近所づきあいは普段から大切にしましょうね！ M.7



編集後記



暑さが日増しに厳しい中でのエコー・ちがさき 70号はいかがでしょう？
文化生涯学習の砦となるべき「ハッピーナ」を編集委員全員勢揃いで見学して参りました。
残暑は冷や奴やカレーライスで乗り切りましょう。



ひととき

短歌 (伊藤要次選)

義弟の好みし日本酒膳にあり笑み思ひ出す三回忌供養

坂巻 ヨネ

おまつりのテント張りつつ空仰ぐ雨の確率明日は六十

小野寺 清

俳句 (清水吞舟選)

追憶は虹の彼方や今を生く



寺町に傘のさざ波七変化

猿渡 弥生

桑の実に野山の匂ひ陽の匂ひ

二見 紀子

高橋 恵子

詳しい生涯学習情報は「マナコレ」でチェック!!

URL <http://www.mana-colle.com/>



マナコレ QRコード

*未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記宛先へ9月1日(火)までにご連絡ください。

*次号(第71号)の発行予定は、平成27年11月1日です。

いつでも どこでも だれでも なにからでも

発行・編集 エコー・ちがさき編集委員会

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課

TEL0467-82-1111(代表) FAX0467-58-4265 E-mail: bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp

PC用 URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/> 携帯用 URL <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>